

2019年11月5日

人民元国際決済システム（CIPS）への参加について

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、中国人民元の外国送金におけるお客さまの利便性向上のため、中国当局の認可を得て、人民元国際決済システム（以下、CIPS）に参加いたしましたのでお知らせします。

CIPS（RMB Cross-Border Interbank Payment System）は、人民元決済の国際化・円滑化・高度化を実現するために中国人民銀行が導入した国際決済システムで、今回、中国銀行（中国北京市）を通じて CIPS へ参加することにより、当行南通支店（以下、南通支店）で人民元建ての外国送金が可能となります。

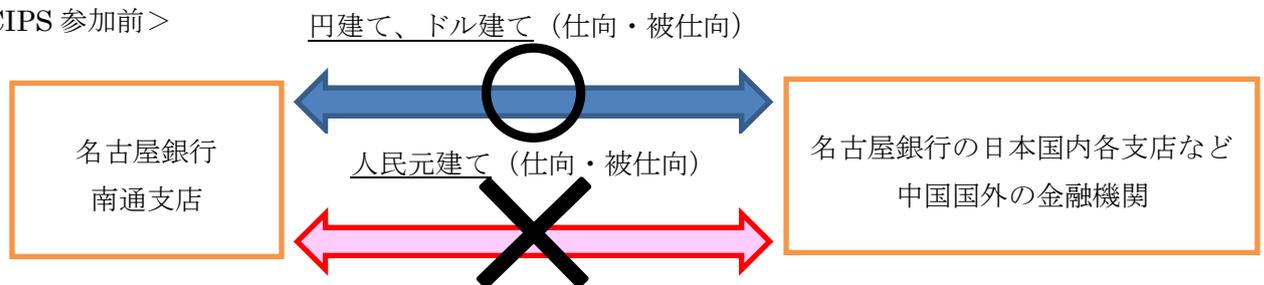
当行は今後も、お客さまのニーズにより一層お応えするため、国内外一体となってお取引先への支援体制強化を図ってまいります。

記

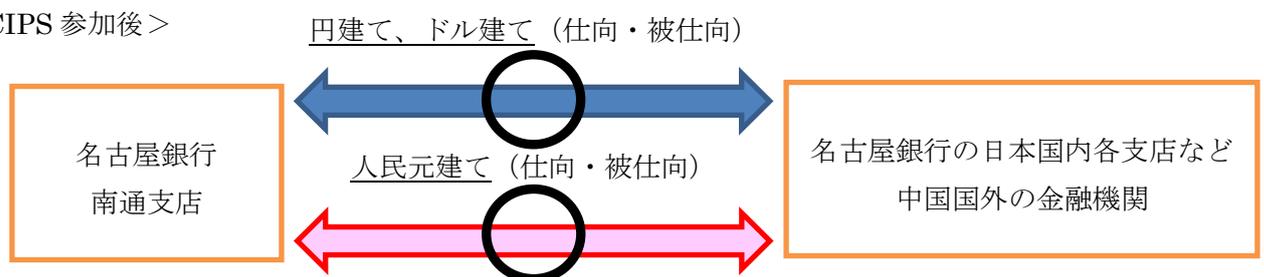
- 1.取 扱 開 始 日 2019年10月17日
- 2.対象となるお取引 (1)南通支店を仕向銀行とした、受取人が法人の人民元建て外国送金
 (2)南通支店から当行営業店を含む中国国外の金融機関等へ送金される、
 受取人が法人の人民元建て被仕向外国送金

【参考】CIPS への参加による変更点について

<CIPS 参加前>



<CIPS 参加後>



以 上